記者発表資料

平成２３年１２月１４日
仙台河川国道事務所

～洪水から地域を守る役割を担う～

樋管などのゲートを開閉する操作員の講習会を開催します

仙台河川国道事務所では、洪水時に本川から支川への逆流を防ぐための施設として、阿武隈川（宮城県）と名取川及び広瀬川に水門や樋管を設置しており、地域の方々にその操作を委嘱しています。
操作に携わる方々に対し、洪水時の対応及び地震発生後の点検等について再確認していただき、来年の出水期に備える講習会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

国土交通省仙台河川国道事務所が管理する河川は、阿武隈川（宮城県内）、白石川、名取川、広瀬川、笊川の５河川、管理総延長は73.5kmとなっております。
・阿武隈川（白石川含む）については54.6kmを管理
・名取川（広瀬川、笊川含む）については18.9kmを管理

１　目　　的

阿武隈川（白石川含む）４１箇所のうち３５箇所、名取川（広瀬川・笊川含む）２２箇所のうち１２箇所の水門や樋管に操作員７８名を配置しています。
講習会では、ゲート操作・点検に関する留意点、出動体制の再確認を行うものです。

※樋管（ひかん）とは、
堤防の下を通っている水路（暗渠）のことで、洪水時に水の逆流を防ぐための施設。
※操作員の役割
洪水時に本川から支川への逆流防止のため、水門や樋管のゲートの開閉操作を担っています。仙台河川国道事務所管内では、全６３施設のうち４７施設についての操作を７８名の方に委嘱しております。

２　開 催 日　　１２月１６日（金）１１時～１５時３０分

３　開催場所　　岩沼市民会館　中ホール

４　参加予定者数　操作員６７名

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山５丁目６－６
Tel（022）-248-4131
河川管理課長　　高梨（タカナシ）　浩志（ヒロシ）　（内線３３１）
河川管理係長　　畠山（ハタケヤマ）　清人（キヨト）　（内線３３２）

〇昨年度の講習会の様子



〇点検している様子



平成２３年度　水閘門操作員講習会

日　時　１２月１６日（金）
１１時～１５時３０分
会　場　岩沼市民会館　中ホール

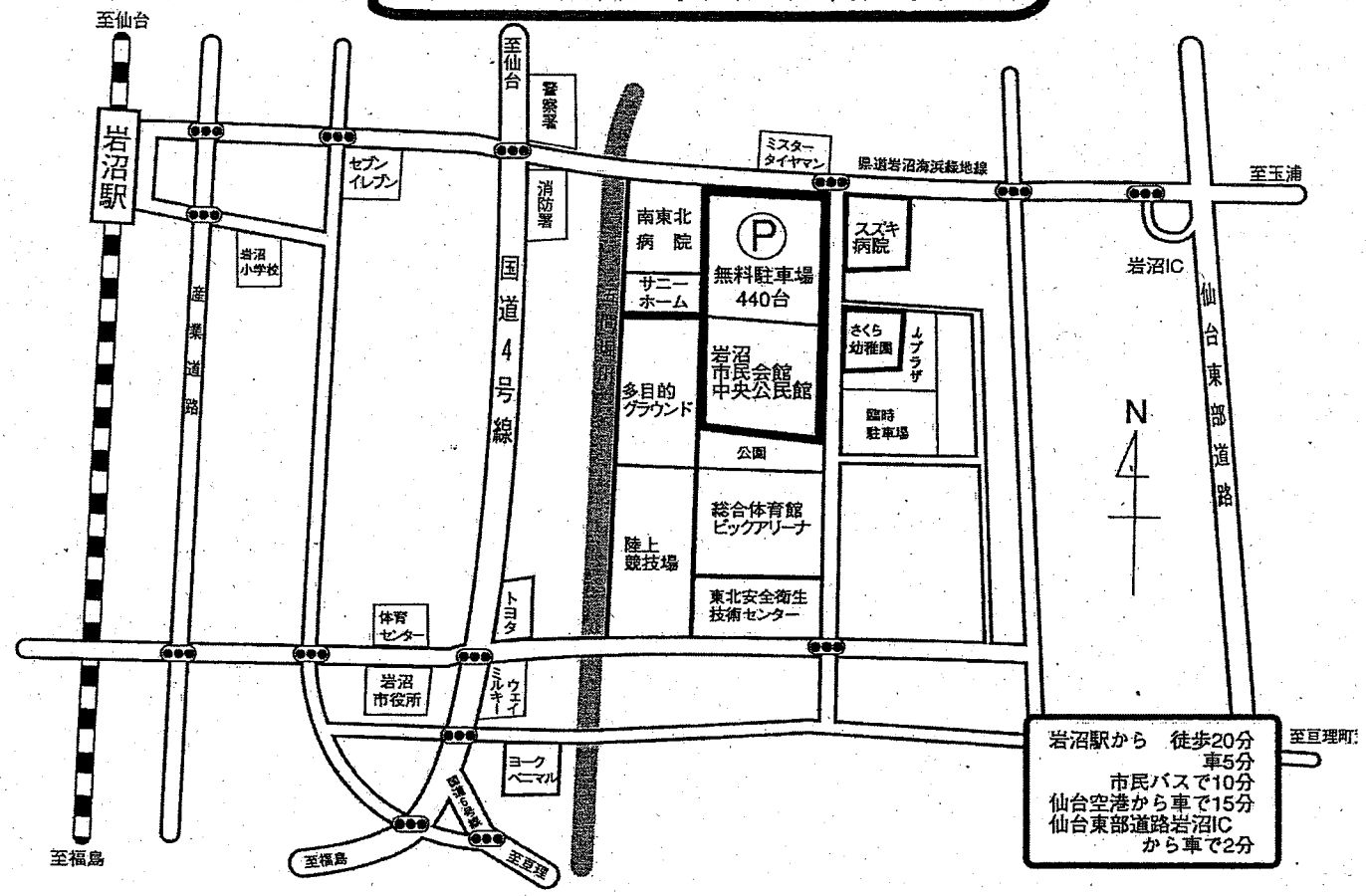
次　　第

１．開　　会
２．あいさつ
３．永年勤続表彰受賞者の紹介とあいさつ
４．新規操作員の紹介とあいさつ
５．平成23年3月11日発生東日本大震災に関わる被災状況等について
６．アンケート（※）の記入
（※東日本大震災発生後の施設点検・出水時の操作）

～休憩（昼食）～

７．職務内容について
８．出水時の出動について
９．地震発生後の点検について
１０．水門設備の点検・整備について
１１．記録簿の注意点について
１２．貸与品の管理について
１３．樋門情報管理システム
１４．質疑応答
１５．連絡事項（出張所）
１６．閉会

岩沼市民会館・中央公民館 案内図



～岩沼市HPより～